

◎留学生日本語科目

概要

学部留学生と交換留学生を対象にした日本語および日本事情の科目である。

達成目標

大学での勉学・研究に必要となる学術的な日本語に関する運用能力の向上を目指すとともに、現代社会における様々なコミュニケーションの場に通用する高度な日本語を身につける。また、日本社会・日本文化に関する理解と教養を深める。

カリキュラムの方針

留学生日本語科目は、必修科目3科目と選択科目5科目から構成される。

「アカデミック・ジャパニーズ」、「日本語アカデミック・リーディングⅠ」、「日本語アカデミック・ライティング」は学部1年次の必修科目である。「読む」、「書く」、「話す」、「聴く」の4技能の強化とともに、主に講義の理解や専門書の講読、レポート作成に必要となる日本語の修得を目指す。

さらに学びたい留学生のために、選択科目「日本語アカデミック・リーディングⅡ」、「日本語アカデミック・プレゼンテーション」、「科学技術のための専門日本語」、「人文社会系のための専門日本語」、「日本事情」が開講されている。「日本語アカデミック・リーディングⅡ」、「日本語アカデミック・プレゼンテーション」、「科学技術のための専門日本語」、「人文社会系のための専門日本語」では、学術的な言語運用場面を想定し、主に2年次以上での専門教育に要求される日本語の水準を目指す。「読む」、「書く」、「話す」、「聴く」の4技能を複合的に結びつけた言語活動を取り上げ、総合的な日本語能力の育成を図る。選択科目「日本事情」では、日本の社会や文化、自然等を概観するとともに、日本人のコミュニケーションやものの考え方への理解を図る。



留学生の
授業風景